

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立友渕小学校

令和8年4月

大阪市立友渕小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 友渕小学校は大阪市有数の大規模校であり、4月1日現在の児童数は1360名である。大人数の子どもたちが安全に安心して学校生活を送ることができる環境を整備することは毎年考えていかなければならない。
- 令和7年度のいじめ認知件数は132件、解消率は78%であった。解消率をさらに高めるためにも一人ひとりが大切にされた学級集団づくりを進める必要がある。
- 学力調査の結果は例年全国平均を上回っている。しかしながら近年上位層や中間層と下位層との差が開いていく傾向にある。下位層の底上げが課題である。
- 児童質問紙による調査では、学力が比較的安定しているのに対し、例年自己肯定感は高くなく、これが課題として挙げられる。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定に回答する児童の割合を80%以上にする。
(令和7年度 69.6%)
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
(令和7年度 84.6%)
- ・小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上にする。
(令和7年度 88.3%)
- ・小学校学力経年調査における「規則正しい生活(朝食を毎日食べること)」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」が大切だと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
(令和7年度 77.7%)
- ・小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
(令和7年度 94.1%)
- ・時間外勤務時間について、年360時間(月平均30時間)を超える教員を1割以下にする。
- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
(令和7年度 81.6%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定に回答する児童の割合を70%以上にする。
(令和7年度 69.6%)
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善（出席日数の増加・外部専門機関への接続等）の割合を10%にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
(令和7年度 84.6%)
- ・小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- ・校内アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。
(令和7年度 72%)
- ・小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。
(令和7年度 77.7%)
- ・校内の児童アンケートにおける「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・時間外勤務時間について、年480時間（月平均40時間）を超える教員を1割以下にする。
- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。
(令和7年度 81.6%)

大阪市立友渕小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 (令和7年度 69.6%) ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善(出席日数の増加・外部専門機関への接続等)の割合を10%にする。 ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 (令和7年度 84.6%) ・小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>心の天気や相談申告機能などの活用とともに、担任にとどまらず学年チームの教員へ相談できる体制を整える。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の児童アンケートで「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>サポートルームや保健室など、校内の居場所の確保に努める。校内委員会などで情報共有したり、スクールカウンセラーと連携を図ったりする。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善(出席日数の増加・外部専門機関への接続等)の割合を10%にする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>道徳科の「主として自分自身に関すること」の内容項目を中心に自尊感情を高める取り組みを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科「主として自分自身に関すること」の「個性の伸長」、「希望と勇気、努力と強い意志」、「真理の探究(5・6年)」の単元を年2回以上取り組む。また、取り組んだことを日常生活と結び付けて考えられる児童を育てる/自分の生活に活かそうとする児童を育てる/実生活へつなげる指導の充実を図る。 <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の児童アンケートで「自分にはよいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 	

大阪市立友渕小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 ・ 小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 ・ 校内アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。 (令和7年度 72%) ・ 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>年間6回の研究授業を通して情報を共有し、すべての教科・領域の授業において深い学びを重視した「自分ごとの学び」の授業への転換を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習を見通し、自ら情報収集・整理し、課題解決に向けて取り組もうとするための授業展開を工夫する（記号接地、自己調整学習の導入）。 ・ 対話を中心に深い学びへ向けて学び合う学習活動を工夫する。 ・ 1時間の学習や単元の学習成果をふり返り、自己の生活や次の学習に生かすための工夫を図る。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内の児童アンケートにおける「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 ・ 「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>自分の体と向き合い、健康的な体づくりへの意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の能力にあった体の使い方を楽しく身に着けるような工夫をする。 ・ 児童が運動を楽しめるような活動を体力向上課を中心に提示し、情報を共有する。 ・ かけあしカードやなわとびカードなどを活用し、児童に達成感を持たせるとともに、次の活動に意欲を持たせるような活動を推進する。 	

大阪市立友渕小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。(令和7年度 77.7%) ・校内の児童アンケートにおける「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 ・時間外勤務時間について、年480時間(月平均40時間)を超える教員を1割以下にする。 ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(令和7年度 81.6%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>児童が「自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したりくらべたりすることで、学びを深める」ことができるよう、校内で学習者用端末を用いた探究的な学びの場を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の情報活用能力を育成するために目標を設定し、年間で目標達成に向けた取り組みを各学年で行う。 ・教員を対象に、校内のICTの指導力についての目標をもとにしたアンケートを実施する。さらにその結果や「大阪市学校教育ICTビジョン」を参考にした研修会を企画・実施する。 ・学習者用端末を用いて、課題設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現という探究的な学習過程に基づいた取り組みを学年内で(ペアクラスやユニット内を対象にするものも含む)実施する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の児童アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、3～6年の肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。 ・情報活用アンケートにおける「問題解決や探究する中で、表現したり発表するために情報技術を使おうとしている。」の項目について、最も肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。 ・校内にて教員を対象に作成した情報活用能力の指導に関する到達目標の達成状況を集計し、すべての教員が10項目中5項目を達成できるようにする。 	

<p>取組内容②【基本的な方向6 教育DXの推進】 児童のインターネットや生成AI、SNS等の活用について、リテラシー教育を校内で推進する中で、児童の意識向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアリテラシーに関わる研修を実施し、指導や授業に関わるイメージを共有する。 ・年間指導計画を立て、各学年での指導を徹底する。 ・年間指導計画に基づき、各学年の実態に応じた内容・教材を用いた実践を進め、その成果や課題を校内で共有するとともに、次年度に引き継ぐ。 ・児童のメディアリテラシーに関する校内アンケートを1学期と3学期で2度実施し、児童の実態の変化を把握して取り組みを検討する。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の児童アンケートにおける「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 働き方ビジョン・働き方改革アクションプランを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日には会議を入れず、18時セットを行う（週1回）。 ・運動会など学校全体の行事の前日には、会議を入れない。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務時間について、年480時間（月平均40時間）を超える教員を1月末の時点で1割以下にする 	
<p>取組内容④【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級、図書時間の確保を行い、毎週火曜日に読書タイムを実施する。 ・委員会活動による読書を推進する活動を行う。 （児童朝会によるおススメの本紹介や読書月間の実施） ・授業での並行読書をする。（学年ワゴンに学年関連の本を用意し回覧できるようにする） ・休み時間の図書開放を利用する。（委員会児童は放送で促す） ・学級の貸出を積極的に行い、学級文庫を充実させる。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の児童アンケートにおける「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>取組内容②【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>取組内容④【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p>	

次年度への改善点

取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】

取組内容③【基本的な方向6 教育DXの推進】

取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

取組内容④【基本的な方向8 生涯学習の支援】